

先日は手賀沼定例探鳥会にご参加いただき、ありがとうございました。てがたんの観察記録でレポートを作成しましたので、ご覧ください。次回2月の「てがたん」は2月9日(土)で「樹木ウォッチング」がテーマです。ご都合のつく方は、ぜひご参加ください。

*市民スタッフの方へ 次回のてがたん下見&打ち合わせは**2月2日(土)**です。よろしくお願いいたします。

1月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→手賀沼親水広場→漁協前→鳥の博物館多目的ホール
- 観察日時/天気 2013年1月12日(土) 10:00~12:00 / 晴れ
- 参加人数 26名(一般20人、子ども6人)
- 市民スタッフ 13名(石原直子、伊東茂子、岡廣志、蒲田知子、木村稔、窪田憲史、小泉伸夫、須貝基康、竹本周平、弘實さと子、松村定雄、水上香苗、村田富美子)
- 鳥博職員 2名(斉藤安行、染谷実紀、村松和行)

観察記録 - 1月てがたんで観察した生き物リスト-

【鳥類】

カモ科：コブハクチョウ、マガモ、カルガモ、オナガガモ/カイツブリ科：カイツブリ、カンムリカイツブリ/ハト科：キジバト/ウ科：カウウ/サギ科：ダイサギ、コサギ/クイナ科：オオバン/カモメ科：ユリカモメ、セグロカモメ/ミサゴ科：ミサゴ/カワセミ科：カワセミ/カラス科：ハシボソガラス、ハシブトガラス/ヒヨドリ科：ヒヨドリ/ウグイス科：ウグイス/ムクドリ科：ムクドリ/ツグミ科：ツグミ/スズメ科：スズメ/セキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ/アトリ科：シメ/ホオジロ科：アオジ/外来種や家禽：バリケン、アヒル、ドバト

【昆虫・クモ】

チョウ・ガの仲間：イラガのまゆ

【花】

キク科：セイヨウタンポポ/シソ科：ホトケノザ/ツバキ科：サザンカ(植栽)

【実】

センリョウ科：センリョウ/ウルシ科：ハゼノキ/メギ科：ナンテン

1月の観察アルバム



今回のてがたんのテーマは「冬鳥観察」でした。親水広場を中心に手賀沼周辺でみられる冬鳥を探しました。広場ではシメやツグミ、手賀沼ではセグロカモメ、ユリカモメ、オナガガモなどの冬鳥が見られました。



今月の案内人 木村稔さん、蒲田知子さん



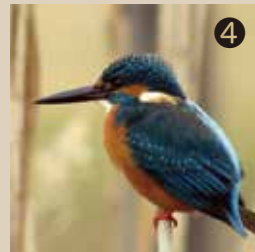
1 地上で餌を探すムクドリ



2 親水広場で冬芽を食べていたシメ



3 ミニ手賀沼にいたカルガモのペア



4 じっくり観察できたカワセミのオス



5 今回一番観察数が多かったオナガガモ



12 室内で羽のおはなし

拾った羽の中で一番多かったのはやはりオナガガモでした。オナガガモはオスとメスで羽色が異なるので、色々な模様の羽が集まりました。



6 羽ひろい

当日は子ども達がんばってたくさん羽を集めてくれました。羽を拾った後は手洗いを忘れずに！



11 電線に止まっていたハシボソガラス



10 冬になると手賀大橋の灯によくとまってセグロカモメ



9 カキノキにいたツグミ 真冬になり食料不足かも？



8 羽を広げて威嚇のポーズ？のコブハクチョウ



7 漁協前で観察したバリケンメス

カモの羽毛のお話

今回のてがたんで羽毛には様々な種類があることをお話しました。羽毛はダウンジャケットや羽毛布団など、私たちの日常生活でよく利用され、フェザーやダウンといった表記をされます。フェザーは羽に軸がある正羽(せいゆう)をさし、ダウンは軸がない綿羽(めんゆう)をさします。

カモは体が水で濡れないように、体を覆う正羽がカールしており、重なり合うことで隙間ができないような構造をしています。さらに保温性を保つために、内側は綿羽が密に生えています(右写真)。

保温効果の高い二層構造 (オシドリのお腹の部分)



外側をおおう正羽

内側の綿羽 (ダウン)